

Mixture next — 芸能の神髄 そして進化へ —

つがるおはらぶし 手踊り「津軽小原節」

東北地方を代表する芸能の一つ、津軽の手踊り。中でも津軽小原節は、テクニックに裏打ちされた繊細かつダイナミックな振り付けで、激しく、切れよく華やかに踊ります。



南川太鼓

香川県さぬき市に伝わる芸能。道中囃子、五打、三打、東京節を、見事な技法で打ち分け、時には唄や語りも加わり盛大に演じられます。



津軽三味線&カホン

カホンはスペインのフラメンコや南米の音楽で使用する打楽器です。津軽三味線とのアドリブセッションでは、その音色とリズムは忌憚なく発揮され、津軽三味線の演奏と巧みにかみ合って、新しい音楽を創り出しました。

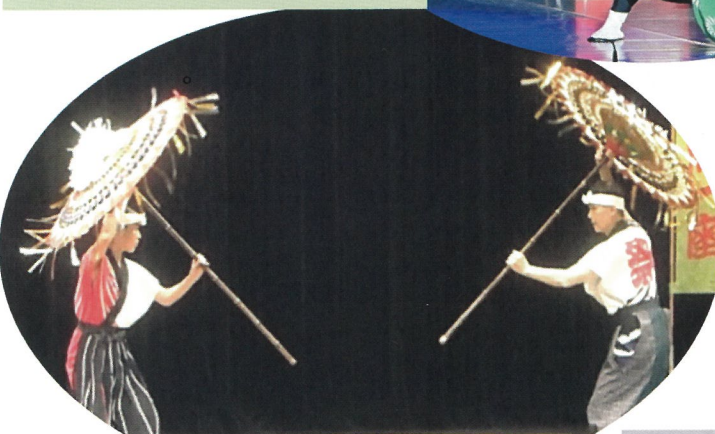
一人ずもう

一人で二人分の相撲をとるさまを演じることから名付けられた芸能。子どもから大人まで人気があります。



寿獅子

無病息災の願いから生まれた芸能。全国にある様々な獅子舞をご指導いただき、明るくコミカルな若駒オリジナルの「寿獅子」が誕生しました。獅子に頭をかまれると、一年間病気をしないという言い伝えがあります。



傘踊り

鳥取県の雨乞いの踊りとして生まれた芸能。踊りの振りの中に武術を盛り込んで、時に力強くまた華やかに踊ります。



しゅん か きょうさい 春夏響彩

春から夏へ季節が移りゆくさまを、和楽器とジャズドラム創作ダンスで魅せます。春一番を想わせるドラムソロで始まり、やがて琴、三味線、篠笛、小鼓の合奏で穏やかな春の訪れを告げます。和太鼓の小気味よい響きが夏の到来を思わせたかと思うと、ダンサーの登場で一気に活動的な真夏が訪れます。

【作品に寄せて】

創立以来創造し続けてきた芸能の最新作「Mixture next—芸能の神髄そして進化へ」が生まれました。

この作品を創作する中で、改めて混ざり合う事、融合し合うことの楽しさ、難しさ、大切さを感じさせられました。

若駒の織り成す伝統芸能、音楽の世界と、高野氏の繰り出すジャズ、洋楽のニュアンスが時には激しくぶつかり合い次第にシンクロして融合してゆく様は、私たち自身が初めて実感したとても不思議な心地よい体験で、芸能の持つ可能性を強く感じさせてくれるものでした。

芸能の神髄に向かってチャレンジし続ける姿勢が、私たちの確信となっています。

演 目
南川太鼓
手踊り「津軽小原節」
津軽三味線&カホン
傘踊り
一人ずもう
寿獅子
春夏響彩
時間 60分



Mixture next

— 芸能の神髄そして進化へ —

若駒だから出来る！

若駒だからこそ観たい！

ジャズドラム と カホン との出会い…
芸能の さらなる進化への挑戦！！

